

「事故ゼロ」を目指す

(近畿) 株F重機 N・F(女性)

私は、仕事をしている中で、**事故が起きた**という**一報**を聞くのが**一番つらい**時です。

事故の報告を受けた時、特に思い出すことがあります。

私は、結婚を期に運送会社の経理部で働いていますが、独身時代は看護師として、大学病院の救命救急センターで働いていました。

当時、**3次救急の指定を受けた病院**でしたので、**大変な重傷患者**が**毎日搬送**されてきました。その中でも、**交通外傷の患者さん**は、**慣れている私達でも目を背けたくなるようなとても悲惨な状態**であることが**多かった**です。

ある日、救命救急センターの扉の前で、**初老の女性**が、**土下座**をし、病院の**冷たい床の上**に**額をこすりつけながら**、「**助けて下さい。助けて下さい。**」と声をあげ、**長時間にわたり祈り続けている**姿を見ました。私は搬送された患者さんの家族の方と思い、胸がしめつけられる思いがしました。

しかし、**その女性**は、**交通事故の加害者のお母様**だったのです。

息子が起こした事故の被害者と、**その家族が集まる病院**を訪れ、**謝罪し、どうか助けてほしいと祈っていた**のです。

それを知った時、本当につらい気持ちになりました。**交通事故が、加害者、被害者を問わず、周りの人々を不幸に陥れていく**恐ろしさを痛感しました。

この出来事が運送会社で働くようになった今、痛烈に思い出されます。

絶対に交通事故の加害者にも、被害者にもなりたくないという強い気持ちが湧き上がります。**会社の仲間や家族にも、絶対につらい思いをしてほしくない**のです。きっと皆、同じ思いだと思います。

しかし、**私達の会社の事故は起きます**。

「**事故ゼロ**」が私達の**大きな願い**であり、**目標**であるにもかかわらず、なかなか**達成できない**のです。皆、**事故をなくしたい**と思っているのに**なぜ事故が起きるのか、どうすれば事故がなくなるのか**、素人の私が考える中で**運行管理の勉強**をしてみようと思いました。

昨年、**3日間の基礎講習**を受講させて頂き、今年3月の**運行管理者の試験**に合格することが出来ました。基礎講習で学んだ内容は、とてもすばらしいものでした。私達の会社ではまだまだ「**ズボラと横着とうっかりミス**」で**事故が起きる**という思いが強いように感じます。

講習では、**事故は起きるべくして起きているのだ**と気付かされました。**いろいろな法律やルールに守られている**ことがわかりました。**健康管理や社内の環境整備**も含め、大切な事を学ぶことができ、**社内教育にもっと力を入れるべきだ**と感じました。

「**事故ゼロ**」への取り組みは、会社からの押し付けでは**改善は難しい**と感じました。また**個人個人が、それぞれにがんばったとしても効果が薄い**のではないかとも思いました。皆が**一体となり同じ意識、目標を持ち、行動**することが出来れば「**事故ゼロ**」に**繋がる**と思います。

私は経理部で皆には関係がないと思われるかもしれませんが、**経理部でも皆と一緒に事故について考えたい**のです。**事故の為にどれだけの損失があったのか、それが皆の給与にどれだけの影響を与えたか**皆に知ってもらいたいです。それよりも、何より私は**会社の仲間すべてとその家族が幸せであってほしい**と心から願っています。

看護師時代、当然事故対策にはかなり真剣に取り組みました。無数の**事故予防対策**の中で個人ででき、簡単で、トラック運転手によいと思う事を1つ紹介します。

それは**イメージトレーニング**です。事故を起こさない自分をイメージするというような抽象的なものではありません。**1日分の自分の行動のすべてを仕事に取り組む前に具体的にイメージ**するのです。これは慣れてくると、時間のかかる事ではありません。そうすることで、**今日1日注意しなければならぬこと、危険な場所、休憩時間・場所、イレギュラーの予想**など、**すべてを理解**することが出来ます。もし疑問や不安があれば、**事前に対応が可能**になります。**イメージトレーニングは具体的であればあるほど意味があり、事故の予防に繋がる**と思います。

今までの私は、社内で**大変消極的**でした。

しかし、今はたくさんの**交通外傷患者**を見てきた私の**経験が役に立つ**ことがあるかもしれないと考え、**もっと積極的になりたい**と思っています。

皆の当たり前の幸せを守り続けたいと、強く思っています。